

# 新潟探求新聞

発行元

新潟青陵大学  
現代社会とメディア  
編集：S

## 食と農の強み活かし

新潟市はホームページで2030年までの八年間のまちづくりに関する総合計画案を公表した。理念は、「みんなで新潟市の強みを活かし、人口減少時代に躍進する、『活力あふれ

るまちづくり』、『持続可能なまちづくり』を進めま

す。これに基づき、2030年の都市像はSDGsの考

え方を踏まえて「経済」「社会」「環境」の三側面

の調和を図ることを目指し、その上で、それぞれの側面の豊かさを高めることが重要だと述べている。

三側面の豊かさの高まりにより実現されるまちの姿や、市民の暮らしのイメージ

## まちづくり計画 新たな価値創造に期待

■目指す都市構造 イメージ



## 人口減やCO2の課題抱え

民間・事業者との連携 多角的な対応必要

新潟市は現在、様々な課題があるが、その中でもとくに人口減少と二酸化炭素排出量の多さという課題を抱えている。

新潟市の都市政策課は、人口減少を新潟市の対処すべき最重要課題としてい

る。人口減少対策には、人口減少を和らげることとあわせて、人口減少社会に適応することが重要。その要因は複雑に絡み合っている。

あらゆる政策を総動員して、点ではなく面として対応する必要があると述べ

る。新潟市は、少子・超高齢社会の進行と若者層の東京圏流出などで人口減少が見込まれている。特に生産年齢人口の減少は企業活動や市民生活に様々な経済的・社会的影響をもたらすことが懸念されている。

人口減少対策には、人口減少社会に適応することが重要。その要因は複雑に絡み合っている。

また、本市は市民の自動車依存度が高い。自動車の二酸化炭素排出量を含

めた運輸部門の二酸化炭素排出量は政令指定都市の中で最も高い。ゼロカーボンシテ、循環型社会実現のためにCO2の削減に向けた対策が急務である。環境政策課は、引き続き公共交通の利用促進や電気自動車等の次世代自動車の導入促進のほか、エアリングの活用などに取り組まうとしている。

新潟市地球温暖化対策実行計画では市と市民、事業者が連携・協働することを推進している。

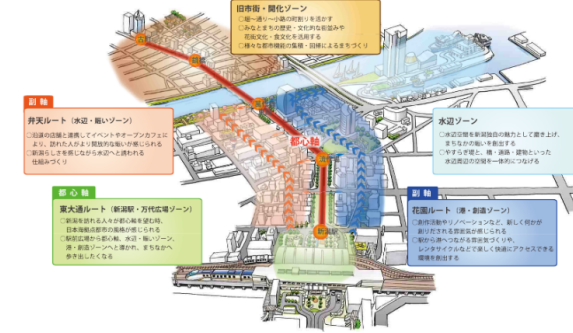
## 未来へ継ぐ新潟市 行政と市民で共に創る

本市が誇るべきものには、政令指定都市中第2位の自治会等の加入率があり、大都市ながらも住民自治が進んでいる。さらに日本海拠点都市として空港や高速道路、新幹線など人と物流ネットワークの要衝。信濃川と阿賀野川の二つの大河に育まれた肥沃な越後平野の他に類を見ない規模の農業基盤がある。市内在住者の本市のイメージ調査結果でも、「食がおいしい」「食材が豊富」「米どころ」など食に

関する項目が上位を占めており、次いで「海、川、潟など水と親しめる街」など自然に関する項目が挙げられる。県外在住者も、本市の魅力を感じ、本市が最も多く、次いで自然が挙げられている。

新潟市は日本海唯一の政令指定都市という強みもある。県の権限・財源の一部が移されるため、より地域の実情に合わせたサービス提供やまちづくりをすることが可能だ。

開港から150年をかけて形成されてきた不動の軸（新潟駅-古町）を、次世代のアイデンティティとしていく



新潟港が1869年に開港してから約150年、新潟市の都市構造は変化し続けてきた。新潟は、都心が信濃川に囲まれて居る状態に広がり、市街地が縦の軸で深く繋がって発展してきた。現在の西堀通にあつた奉

行所から始まる軸の都市づくりは、150年かけて新潟駅へと繋がってきた。今度は新潟駅を玄関口として地域への愛着と誇りを醸成するよう、人を中心とする新しい新潟の軸を考えている。日本海交流拠点都市の風格が、古町に向かうにつれいふくまの歴史や文化が感じられるような約2km間だ。

1615年から24年頃の新潟町は、現在の東中通りも海岸よりの地にあ

## 愛着と誇り感じる都市デザイン 新潟駅から新しい軸

に立地する企業群と、新潟市の強みである「食」と「農」を是れとめる様々

な強みがコロナレシヨン

する。新潟市は、現在少子高齢化対策と持続可能な都市のための拠点性の向上のために、都心部の役割の明確化が必要と述べている。新潟が蓄積してきたものが市民の暮らしと結びつく、魅力ある新潟のイメージの都市デザインだ。将来的にこの軸が新潟のイメージとなり、新潟にとつて「都市」のアイデンティティとなることを目指すとしている。

そして現在、新潟駅の高架橋第一期開業と新潟のまちづくりが大きな節目を迎えている。市街地が高度化・多機能化し、都市機能の更新が始まっている。

新潟市は、現在少子高齢化対策と持続可能な都市のための拠点性の向上のために、都心部の役割の明確化が必要と述べている。新潟が蓄積してきたものが市民の暮らしと結びつく、魅力ある新潟のイメージの都市デザインだ。将来的にこの軸が新潟のイメージとなり、新潟にとつて「都市」のアイデンティティとなることを目指すとしている。